

一般質問



市民協働のまち。 まずは、図書館の議論から



無会派 ● 赤祖父 裕美 議員

- 問** 本の魅力について
- 答** 教育の視点表現力を高め、豊かな感性・人間性を育み、自ら考える力が育まれる。子育ての視点おうちの方のぬくもりに触れることで子どもの安心感が生まれる。まちづくりの視点を介して、人と人を繋ぐ手法の一つとして活用できる。
- 問** 図書館協議会での意見について
- 答** 石部の図書館についても話し合っており、未来の図書館について引き続き協議していく。
- 問** 石部文化ホールの運営について
- 答** 令和6年度も同様の市の直営で、甲西文化ホールに職員を配置しながら管理運営を一元化していきます。
- 問** 文化スポーツ課の人員体制は厳しいのではないか。

- 答** 文化振興のより一層の推進を図っていきます。
- 問** 災害に備えた避難所
- 問** 福祉避難所の進捗状況
- 答** 19法人44施設と災害時応援協定を締結しています。説明会を開催し、連携強化の場を設定していきます。
- 問** 外国籍住民の避難
- 答** 平時から就労先の企業や派遣会社へ情報を提供し外国人防災リーダーの育成を検討。
- 問** 保育士業務軽減 お昼寝センサーの導入
- 問** 公立4園は導入に至っていない。民間園は14園中、5園が導入。保育のデジタル化を効果的に活用するために、下田こども園や石部保育園の建て替え時に導入しては。
- 答** 利用状況を十分に調査し、検討していきたいと考えています。



実行性の高い計画の見直しを！



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

- 問** 防災減災について、能登半島の地震を目の当たりにしている今だからこそ各種計画の見直し、職員・市民の意識向上を
- 答** 本市の被災を想定し発災直後の初動対応から迅速かつ的確な対応ができるよう継続的な訓練の実施や検証と併せて各種計画・マニュアル等の随時見直しを図り、能登地方の支援等を通して「現場を知る職員」を増やすことにより、部署間越境連携をより実現可能なものにしていきたいと考えます。
- 問** 耐震補強について
- 答** 昭和56年5月31日以前に建築された旧耐震基準の木造住宅を対象に無料で耐震診断を実施し、耐震改修の概算費用の結果を提供しています。その後耐震改修をされる場合、耐

- 震改修に係る費用の5分の4もしくは最大150万円の補助制度を設けています。さらに診断結果を基に家屋の耐震の強弱から避難方向について説明してもらうことができます。
- 問** 令和7年度甲西中学校に設置される夜間中学について
- 答** 滋賀県に在住あるいは湖南市に在勤している中学校の就学義務年齢を過ぎた中学校未修了の人または不登校などの理由で十分に学ぶことができなかった人のうち湖南市教育委員会が認めた人を入学者とします。
- 問** 入学希望者が多数となった場合断るのか。
- 答** 入学希望の理由や学習意欲など面談で丁寧に聞き取り、受け入れ可能な人数までお断りしないようにと考えています。